

病理と臨床

Pathology and Clinical Medicine

(創刊)1983年1月
 (発行日)毎月1日発行
 (発行部数)5,000部
 (判型・頁数)B5変型判・120頁
 (組仕様)本文横組・縦2段
 (印刷)オフセット印刷
 (製本)無線とじ
 (定価)本体2,900円+税

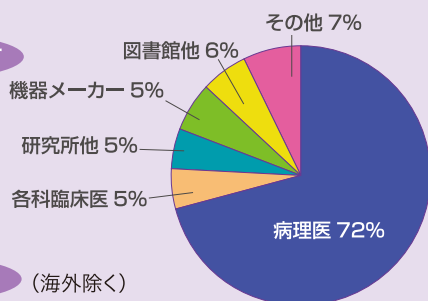
【発行】
文光堂
 〒113-0033
 東京都文京区本郷7-2-7
 TEL 03-3813-5478
 FAX 03-3813-7241
<https://www.bunkodo.co.jp>

月刊「病理と臨床」広告掲載のご案内

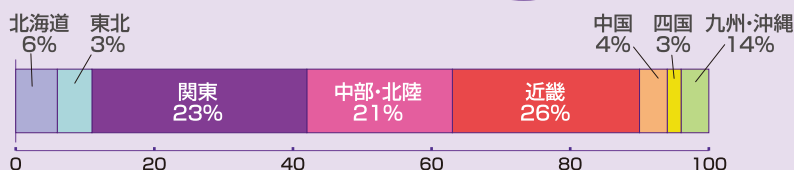
月刊『病理と臨床』は病理医や臨床検査技師などの病理学関係者および臨床医、医学生などを対象にした病理学専門誌として1983年の創刊以来、日常の病理診断に役立つ実用的テーマを厳選して毎号特集として取り上げ、臨床との密接な連携を念頭におきつつ、人体病理学の第一線に必要な病理診断の知識を幅広く紹介しつつあります。連載では若手病理医にとって必要な情報や、病理医が知っている役に立つ臨床各科の情報などを横断的に紹介しております。また、本誌は日本病理学会の学術機関誌の役割も担っております。つきましては、ぜひ貴社の広告・宣伝スペースとして本誌をご活用くださいますようお願い申し上げます。

【読者分布】

●職種別読者分布



●地域別読者分布 (海外除く)



記

●広告料金表 (税別価格)

表4 (4色)	250,000円	記事中 (1色) 1ページ	70,000円
表2 (1色)	100,000円	後付 (1色) 1ページ	60,000円
表3 (1色)	80,000円	後付 (1色) 1/2ページ	35,000円
前付 (1色) 1ページ	80,000円	綴込1枚	120,000円

*上記の料金は1回料金となります。年6回、年12回の申込みの場合は、それぞれ料金割引がございます。

●広告締切 (申し込み・広告原稿締め切り日) 発行日の前々月25日

●広告原稿 *判型がB5変型判のため、広告サイズが通常のB5サイズよりも若干大きくなっております。

サイズ：1頁 天地226mm×左右165mm, 1/2頁 天地113mm×左右165mm, プリード 天地262mm×左右190mm
 形態：完全データ入稿

【記事体広告料金】2色・1頁：130,000円, 4色・1頁：250,000円(データ入稿) 綴込1枚：200,000円(完成したものを納品)
 【綴込記事広告についての特記事項】

- 文中に広告である旨を表示してください。例)○○株式会社提供
- 事前に、著者名(対談者名)・タイトル・内容を編集部あてにご提出ください(納品締切の1ヶ月前頃をお願いします)。
 *査読の結果、掲載をお断りする場合がございます。

●お申し込み先/お問い合わせ先

株式会社 メディカルブレン
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-24-2
 TEL: 03-3814-5980 FAX: 03-3814-5846
 E-mail: medicalbrain@mbr-web.com

株式会社 福田商店広告部
 〒540-0024 大阪市中央区南新町2-4-3 グラントビル11F
 TEL: 06-6941-5600 FAX: 06-6941-5605
 E-mail: info-f@adfukuda.jp

【本誌の概要】

日常の病理診断に役立つ実用的テーマを厳選して毎月特集として取り上げ、臨床との密接な連携を念頭におきつつ、人体病理学の第一線に必要な病理診断の知識を幅広く紹介する病理学専門誌、日本病理学会の学術機関私的役割も担っている。

【編集委員】

常任編集委員長：深山正久（東大）
常任編集委員：宇於崎 宏（帝京大） 内藤善哉（日本医大） 金井弥栄（慶應大）
谷田部 恭（愛知県がんセンター中央病院） 北川昌伸（医科歯科大）

【読者対象】

病理医や臨床検査技師などの病理学関係者および臨床医、医学生ほか



本誌の特色

- チーム医療の根幹を支える病理医の必修事項を毎月紹介！
- 医学分野における進歩の道標、実験病理分野の最前線をピックアップ！
- 全臓器をカバーし幅広い知識を必要とする病理医のために、臨床各科との連携記事も充実！
- 医学生、研修医、臨床医にもわかりやすい、オールカラーの病理専門誌！

本誌の構成

- 〈特集〉 + 〈連載〉 + 〈その他の関連記事〉

特集

病理学のスタンダードな知識の普及を目的とし、最新の知見やトピックスも盛り込んで構成

*わかりやすく読みやすい誌面構成



- 臓器別の疾患特集を中心に、病理専門医試験対策や基礎的事項のおさらいにも役立つ内容、
- 2号にわたる大型特集、さらに実験病理学の最前線などを、WHO分類や取扱い規約の改訂、そのときどきのトピックス性を鑑みて選定している。

連載

【問題】 30歳代、女性。主訴は右下腹痛。広汎子宮増大および卵巣腫大。



1. 子宮腫大にどのような病変が認められるか？
2. 鑑別診断は何か？

日常病理診断に有用な実用的テーマを厳選し、ベテランの病理医が「鑑別診断」「組織の見方」など、若手病理医にとってぜひとも必要な情報を提供。また、画像診断や神経疾患の診断など、病理医が知っていると役立つ、臨床各科の情報を横断的に紹介。

●最近掲載の連載

- 〈マクロクイズ〉
- 〈病理をとりまく医療経済〉
- 〈AIと医療〉
- 〈知っておきたい電子顕微鏡技術〉
- ・・・など

そのほかの関連記事

CPC解説、原著、症例、病理技術、情報処理、Review / Opinion、私の工夫、ひろば等、投稿記事のほか、書評、勉強会の案内をお知らせするInformationなど、情報記事も充実。